京都府 報道発表資料

丹後広域振興局　資料配付

令和８年１１月１８日

丹後震災 100 年を契機とした防災講演会を開催します

1927 年３月７日に発生し丹後地域に未曽有の被害をもたらした丹後震災から 100 年となることを契機に、一層の地震対策を推進するため、「命を守る私たちの備え～丹後震災 100 年を迎えて～」と題し、講演会を開催しますので、周知及び取組の取材について、よろしくお願いします。

１　日　時

令和８年１２月１３日（日）　午後１時３０分～３時（開場１時）

２　場　所

アグリセンター大宮　多目的ホール　（京丹後市大宮町口大野 228）

３　内　容

防災講演会「命を守る私たちの備え～丹後震災 100 年を迎えて～」

第１部　「もしもに備える地域でできる取り組み」
講　師　福知山公立大学地域公共政策学部　准教授　大門　大朗　氏

第２部　「『何かあったら集会所へ』命を救った合言葉」
ゲスト：石川県珠洲市三崎町寺家下出地区　区長　出村　正廣　氏
コーディネーター：福知山公立大学　准教授　大門　大朗　氏
意見交換

第３部　京都府からのご紹介
「京都式あんしん避難所」
「丹後地域一斉シェイクアウト訓練」

４　申込方法

申込フォームから申込または電話（QR コード提供可能）
１２月９日（水）までにお申し込みください。

５　後　援

宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

【本報道発表に関するお問合せ】
丹後広域振興局総務防災課　課長　谷口　　電話 0772-62-4301



防災講演会

命を守る私たちの備え
～丹後震災100年を迎えて～

避難訓練を繰り返し、能登半島地震で住民全員が助かった奇跡のまちとして、新聞などに取り上げられた石川県珠洲市三崎町寺家下出地区の区長をゲストとしてお招きし、地域で取り組んだきっかけ、体験談をお話しいただきます。

定員250名
入場無料

令和8年12月13日 日

時間 13:30～15:00 （開場13:00）

会場 アグリセンター大宮 多目的ホール
（京丹後市大宮町口大野228）

第1部 「もしもに備える地域でできる取り組み」
大門 大朗准教授（福知山公立大学）

第2部 「『何かあったら集会所へ』命を救った合言葉」
ゲスト：石川県珠洲市三崎町寺家下出地区 区長 出村正廣氏
コーディネーター：大門 大朗准教授（福知山公立大学）
意見交換

第3部 京都府からのご紹介「京都式あんしん避難所」
「丹後地域一斉シェイクアウト訓練」

QRコードからお申込みください。 12月9日（水）まで
お電話でもお申込みいただけます。

主催/お問い合わせ：京都府丹後広域振興局総務防災課 Tel:0772-62-4301
後援：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町